

問1 古代中国で成立した「殷」という国家に関する説明として、最も適切なものはどれですか。（2019年 千葉県公立入試 類似）

1. 黄河流域におこり、亀の甲や牛の骨に文字を刻んで記録を残した。
2. ナイル川の流域におこり、ピラミッドや神殿を建設した。
3. インダス川の流域におこり、計画的な都市や排水施設をつくった。
4. チグリス川・ユーフラテス川の流域におこり、太陰暦や六十進法を生み出した。

問2 イタリア半島中部に位置する都市国家から発展し、紀元前6世紀末に貴族を中心とした「共和制」が成立した後、紀元前1世紀には地中海の全域を統一する巨大な帝国へと成長した国家の名前を答えなさい。（2025年 和歌山公立入試 類似）

1. ローマ
2. アテネ
3. 長安
4. バビロン

問3 四大文明の一つであるメソポタミア文明について、その特徴や文化的な背景を説明した文として最も適切なものは、次のうちどれですか。（2021年 徳島公立入試 類似）

1. ティグリス川とユーフラテス川の増水時期を予測する必要から、天文学が発達し、太陰暦や六十進法が生まれた。
2. ナイル川の定期的な氾濫を管理するために、測量術が発達し、太陰暦や象形文字が使われた。
3. インダス川流域で都市文明が発達し、印章などに刻まれた独自の未解読文字が使われた。
4. 黄河や長江の流域で青銅器文化が発達し、亀の甲羅などに甲骨文字が刻まれた。

問4 鎌倉時代後期の1281年に起きた「弘安の役」について、その時の中国の王朝と当時の日本の状況を説明した文として正しいものを選びなさい。（2018年 福島県公立入試 類似）

1. モンゴル帝国が国号を改めた元という王朝が侵攻し、北条時宗を中心とする鎌倉幕府が防戦にたった。
2. 唐という王朝が朝鮮半島の新羅と結んで攻めてきたため、日本は太宰府に水城を築いて防御を固めた。
3. 漢という王朝の皇帝から金印を授かったことで、日本国内の有力な王としての地位を確立しようとした。
4. 明という王朝との間で正式な外交関係を結び、倭寇の取り締まりを条件に貿易を開始した。

問5 7世紀にアラビア半島のムハンマドが、唯一の神であるアッラーからの啓示を受けたとして開いた、神への絶対的な服従を説く宗教は何か、次の中から選びなさい。（2025年 千葉公立入試 類似）

1. イスラム教
2. キリスト教
3. 仏教
4. 儒教

問6 古代文明の発生地について述べた文として、アフリカ北東部のナイル川流域で栄え、象形文字を使用し、ピラミッドなどの巨大建築物を残した文明の名称を答えなさい。（2019年 沖縄公立入試 類似）

1. エジプト文明
2. メソポタミア文明
3. インダス文明
4. 中国文明

問7 チグリス川とユーフラテス川の流域で成立した古代文明において、粘土板に刻んで使用されていた文字を何といいますか。

（2016年 大分県公立入試 類似）

1. 楔形文字
2. 甲骨文字
3. 象形文字（ヒエログリフ）
4. インダス文字

問8 古代ローマ帝国では、イエスの教えを信じる人々を当初は迫害していましたが、のちに帝国を統治するうえで民衆の団結を強めるためにキリスト教を公認し、4世紀末には特定の宗教のみを国の宗教として決めました。このように、国家が法律によって特定の宗教を公に認めたものを何といいますか。（2020年 島根公立入試 類似）

1. 国教
2. 民主政治
3. 儒教
4. 仏教

問9 石の柱に刻まれた「ハンムラビ法典」には、くさび形文字で「目には目を、歯には歯を」という原則が記されている。このように、法律を文字として記録し、公開した目的として最も適切なものはどれか。（2022年 和歌山公立入試 類似）

1. 特定の神官階級にのみ法律を伝え、民衆を秘密裏に支配するため
2. 裁判の基準を明確にし、広大な領土を統一的なルールで統治するため
3. 文字を読めない民衆のために、刑罰の内容を絵で分かりやすく示すため
4. 他国との貿易において、商品の価格や取引のルールを共通化するため

答え合わせ・解説

問1	答え 1 黄河流域におこり、亀の甲や牛の骨に文字を刻んで記録を残した。	殷は中国最古の王朝とされる国家で、黄河流域の肥沃な土地を背景に発展しました。占いに使われた文字は、のちに周辺諸国の文化にも大きな影響を与えることとなります。他の選択肢は、それぞれエジプト文明、インダス文明、メソポタミア文明の特徴を説明したものです。
問2	答え 1 ローマ	イタリア半島中部の小さな都市国家から始まったこの国家は、王政を廃止して貴族による共和制を確立しました。その後、平民の権利拡大や周辺地域への征服活動を通じて勢力を広げ、最終的には地中海を「われらが海」と呼ぶほどの広大な帝国を築き上げました。ギリシャのアテネと異なり、広大な領土を統治するための法整備や土木技術が発達した点も特徴です。
問3	答え 1 ティグリス川とユーフラテス川の増水時期を予測する必要から、天文学が発達し、太陰暦や六十進法が生まれた。	メソポタミア文明は、不規則な氾濫を繰り返すティグリス川とユーフラテス川の流域で成立しました。そのため、農業の管理に不可欠な暦や数学が高度に発達しました。この地域で生まれたくさび形文字は、のちに周辺の民族にも広まり、西アジア全体の文化の基礎となりました。選択肢にある「ナイル川」はエジプト文明、「インダス川」はインダス文明、「黄河・長江」は中国文明に関する記述です。
問4	答え 1 モンゴル帝国が国号を改めた元という王朝が侵攻し、北条時宗を中心とする鎌倉幕府が防戦にあたった。	13世紀後半、フビライ・ハンが国号を定めた「元」は、日本に対して服属を要求し、文永の役（1274年）と弘安の役（1281年）の二度にわたって侵攻しました。これを迎え撃ったのは、鎌倉幕府の執権であった北条時宗です。唐や新羅との戦いは7世紀の白村江の戦い、金印の授与は1世紀の漢（後漢）との交流、明との貿易は室町時代の出来事です。
問5	答え 1 イスラム教	ムハンマドがメッカで開いたこの宗教は、唯一神アッラーを信仰し、その教えは聖典「コーラン」にまとめられています。ムスリムと呼ばれる信者は、礼拝や断食など、生活全般において神への服従を実践することを重んじます。
問6	答え 1 エジプト文明	ナイル川の定期的な増水によってもたらされる肥沃な土地を基盤に発展した文明です。天文学が発達して太陽暦が作られたほか、パピルスに記される象形文字（ヒエログリフ）などの文化が生まれました。
問7	答え 1 楔形文字	この地域では、湿った粘土の板に葦などの茎を押し当てて文字を刻んでいました。その形状が「くさび」に似ていたことから楔形文字と呼ばれます。亀の甲羅や牛の骨に刻まれたのは中国文明の甲骨文字、ナイル川流域で使われたのはエジプト文明の象形文字です。
問8	答え 1 国教	ローマ帝国は広大な領土と多様な民族を支配するために、当初は皇帝を神として崇拝することを強要し、それを拒むキリスト教徒を弾圧しました。しかし、社会不安が増大する中でキリスト教が急速に広まったため、帝国を維持・統合する手段としてこれを利用する方針に転換しました。その結果、テオドシウス帝の時代にキリスト教以外の宗教を禁止し、国の宗教としての地位を確立させました。
問9	答え 2 裁判の基準を明確にし、広大な領土を統一的なルールで統治するため	ハンムラビ王は、メソポタミアを統一した際、それまでバラバラだった慣習やルールを「成文法（文字に書かれた法律）」としてまとめました。誰の目にも見える形で法律を提示することで、公平な裁判の基準を示し、王の権威のもとで社会秩序を安定させる狙いがありました。